

施策体系

政策名(基本方針)	3	教育の健康	施策名	10	生涯学習の推進
-----------	---	-------	-----	----	---------

施策統括部	教育部	関係課	
施策主管課	生涯学習課		

1 施策の目的と指標

対象	市民、市外からの通勤・通学者	意図	生涯を通じて学習を行っている
----	----------------	----	----------------

成果指標			単位
A	月1回以上、生涯学習(学び:文化活動、趣味、レクリエーション活動など)を行っている人の割合(市民アンケート)		%
B			
C			
D			

2 指標等の推移

成果指標	30年度 現状値	数値区分	2年度	3年度	4年度	5年度	評価	背景として考えられること
A	%	36.7	成り行き値	36.7	36.7	36.7	△	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、外出や様々な活動の自粛を求められ、生涯学習活動の継続ができなかったことが低下したものと考えられます。
			目標値	37.0	38.0	39.0		
			実績値	32.8				
B			成り行き値					
			目標値					
			実績値					
C			成り行き値					
			目標値					
			実績値					
D			成り行き値					
			目標値					
			実績値					

※【評価】○:目標達成 △:目標をほぼ達成(−5%) ×:目標を未達成

事務事業数・コスト			2年度	3年度	4年度	5年度	
事務事業数			本数	13			
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	1,840			
		都道府県支出金	千円	1,578			
		地方債	千円	0			
		その他	千円	16,991			
		繰入金	千円	0			
		一般財源	千円	316,612			
	事業費計（A）		千円	337,021	0	0	0
	（A）のうち指定経費		千円	2			
	（A）のうち時間外、特殊勤務手当		千円	0			
人件費	延べ業務時間		時間	9,385			
	人件費計（B）		千円	37,005			
トータルコスト(A)+(B)			千円	374,026	0	0	0

※成果指標の目標値設定とその根拠

A	月1回以上、生涯学習(学び:文化活動、趣味、レクリエーション活動など)を行っている人の割合についての成り行き値は、これまで各種講座などの学習機会におけるのべ参加者数は増加傾向にありますが、関心度の高さや人口増加率に比べ平成30年度の現状値の数値が低いことから、大きな変化はないものと考え、平成30年度の実績値で推移するとして令和5年度を36.7%に設定しました。目標値は、多様な学習ニーズに応えるため、学習を阻害している要因を分析し、学習機会の充実をより一層図っていくことで、令和2年度を37.0%とし、以降各年度1.0ポイントの増を目指し、令和5年度を40.0%と設定しました。
---	---

3 施策の特性・状況変化・住民意見等

①施策の基本方針

・学習活動に取り組みやすい環境づくりと、学びへの参加のきっかけづくりに努めます。 ・各施設の計画的な維持管理に努めます。 ・地域のコミュニティ活動の活性化を図るため、地域学校協働活動を推進します。
--

②協働によるまちづくりの具体策(施策における市民と行政の役割分担)

市民(事業所、地域、団体)の役割	
・市民は、学習意欲を持ち、ライフスタイルに合わせ自主的に取り組みます。 ・地域では、学びを基本としたコミュニティづくりに努めます。 ・団体は、自立した自主的活動を行います。	
行政の役割(市がやるべきこと)	
・市は、学習機会の提供と情報発信を行います。 ・市は、各施設の安全で安心な施設管理・運営を行います。 ・市は、各団体や地域における活動の支援を行います。	

③施策の現状(第2期計画策定当初)と今後の状況変化

- ・生涯学習主催講座において、民間委託を積極的に導入しています。
- ・住民のニーズに即した学習機会を提供しています。
- ・各施設の老朽化が進んでいます。
- ・施設更新経費や維持管理経費が増加しています。
- ・地域コミュニティの互助・共助の機能が低下しています。
- ・学校と地域の連携・協働の重要性が求められています。

④この施策に対して住民(対象者、納税者、関係者)、議会からどんな意見や要望が寄せられているか？

(令和2年度(令和元年度振り返り)の施策評価における議会意見)

- ①新しい生活様式(コロナ対応)における生涯学習のあり方について検討すること。
- ②3つの館の連携を図り、図書館の効果的な運営と利活用を充実させること。

(令和2年度(令和元年度振り返り)の施策評価における総合政策審議会意見)

- ①幅広い年齢層に対応した講座のメニューの充実を図ること
- ②イベントや講座等の内容、場所等は参加しやすいように努めること
- ③健康寿命の延伸を視野に入れた生涯学習を推進すること
- ④社会教育施設が利用しやすくなるように環境整備を行うこと

4 施策の評価

①施策の振り返り(施策の方針、経営方針の達成度等)

※ 経営方針からの振り返り、貢献度評価の上位の事務事業を記載

(1) 令和2年度経営方針からの振り返りは以下のとおりです。

①「生涯学習施設の適正な維持管理に努めるとともに、指定管理者制度の活用など公民連携した管理運営体制について具体的に取り組む。」については、急を要する修繕も多く発生しましたが適正な維持管理ができました。計画的な保全、効果的な施設マネジメントを図るため、管財課にて「公共施設個別計画」が策定されています。老朽施設につきましては、施設の劣化診断のもと指定管理者制度を視野に入れた計画的・効果的な保全計画の策定に努めます。

②「各種講座や教室等については、市民ニーズを的確に把握するとともに、民間ノウハウを活用するなど内容の充実を図る。また、効果的な広報を実施し、市民が参加しやすい環境づくりに取り組む。」については、生涯学習主催講座において、民間委託を導入することにより、生涯学習に関する情報を幅広く収集し、チラシの全戸配布やホームページにおいて幅広く周知しました。また新型コロナウイルス感染防止の取り組みを行い環境づくりに努め、引き続き住民のニーズに即した学習機会を提供することができました。

③「地域コミュニティ活動(栄コミュニティ、地域学校協働活動)の推進を図るとともに、人材の育成および確保に努める。」については、新たにみどり館を拠点とした栄コミュニティを結成することができました。みどり館を新たに市民センターとして活用し、他の市民センターも含め地域学校協働活動とともに住民の生涯学習活動の充実と情報提供に努めていきます。

(2) 事務事業貢献度評価の結果では、令和2年度施策の成果を向上させるために貢献した事業としては、生涯学習講座運営事業、図書館管理運営委託事業があげられました。

②施策の課題(令和2年度の施策の振り返りから見る課題)

- ・これまで学習に参加できない人の掘り起こしや、多様なニーズに対応した学習機会の充実が必要です。
- ・各施設の計画的な維持管理や更新が必要です。
- ・地域のコミュニティ活動の活性化が必要です。

5 施策の令和2年度結果に対する審査結果

①政策推進本部での指摘事項(施策目標達成度評価結果報告を受けて令和3年7月21日)

- ・引き続き生涯学習に取り組みやすい環境(ハード・ソフト)づくりに努めること。
- ・市民ニーズに合った各種講座、催事などを工夫し、情報発信に努めること。
- ・生涯学習指導者の活用を図ること。
- ・ウィズコロナ、アフターコロナにおける生涯学習を推進すること。

②総合政策審議会での指摘事項(令和3年8月4日会議及び書面によるまとめ)

- ・イベントや講座等の内容、場所等は参加しやすいように努めること。
- ・健康寿命の延伸を視野に入れた生涯学習を推進すること。
- ・社会教育施設を利用しやすくなるように環境整備を行うこと。

③議会の行政評価における指摘事項(令和3年9月2日)

- ・高齢者の認知症予防や引きこもり防止のため、新しい学習機会(例えばeスポーツ等)の充実を図ること。
- ・生涯学習講座等に新たにポイント制を導入して利用者の増加を図ること。
- ・新型コロナ感染症対策の影響で会員数が減少している講座等は支援の手だてをすること。

6 次年度に向けた取り組み方針

○政策推進本部 令和4年度合志市経営方針(令和3年10月4日)

- ①新しい生活様式への支援拡充と利用しやすい環境整備として、生涯学習施設のインターネット予約等の導入を検討します。
- ②幅広い年齢層を対象にオンライン講座・文化活動等、内容の充実に努めるとともに、効果的な情報発信に取り組みます。
- ③図書館3館とマンガミュージアム及び歴史資料館が互いに連携し、効果的な利活用を図るとともに、それぞれの魅力発信に努めます。
- ④生涯学習施設の長寿命化のための予防保全を施し、長期に渡って使用し続けられるよう、安全・快適な生涯学習施設の提供に努めます。